

# 東京お茶の水ロータリークラブ



ロータリーは世界をつなぐ  
2019-20年度 RI会長  
マーク・ダニエル・マローニー

ロータリーの原点に立ち  
親睦と和と輪による奉仕活動の推進  
2019-20年度クラブ会長 永井 一史



## 本日の卓話

## ガバナー公式訪問

### 第 2580 地区ガバナー 新本 博司様 (那覇 RC)

#### 新本 博司ガバナー略歴

事業所 株式会社ドリームサポート沖縄 代表取締役ロータリー歴 (職業分類: 健康食品)  
(昭和 20) 年 6 月 7 日生まれ

1996 年 10 月	那覇 RC 入会	2009-10 年度	地区世界社会奉仕委員
2002-03 年度	那覇 RC 幹事	2011-12 年度	地区クラブ奉仕委員
2004-07 年度	地区 IAC 副委員長	2012-13 年度	沖縄分区ガバナー補佐
2007-08 年度	那覇 RC 会長	2013-14 年度	地区拡大増強委員
2008-09 年度	地区国際奉仕委員	※マルチプル・ポール・ハリス・フェロー/米山功労者	



#### プログラム

司会進行	神保 宏充 会員
開会点鐘	永井 一史 会長
「手に手つないで」 ソングリーダー	笠原健太朗 会員
ゲストビジター紹介	戸部 八郎 会員
ニコニコ報告	神保 宏充 会員
誕生日祝い	
会長報告	永井 一史 会長
幹事報告	西村美智子 幹事
出席報告	張 碧華 会員
閉会点鐘	永井 一史 会長

#### ゲスト・ビジター

名古屋栄 RC	加藤 浩志 様
米山記念奨学生	付 達文 さん

#### 出席報告

会員数	37 名	ゲスト	1 名
出席数	21 名	ビジター	1 名
欠席数	16 名	10/23 修正	76%

#### 今後の行事および卓話予定

12/4 クリスマス家族親睦会  
12/11 チェンライの報告 奥山 聡 会員  
仁シエ・ジョン・スピーチ 海江田 会員  
12/18 クラブ年次総会  
次年度理事役員候補者の発表

#### ニコニコボックス

永井一史会長 皆様、風邪には気をつけて下さい  
奥山 聡会員 先週、チェンライから帰って来ました。輝く瞳にたくさん会ってきました。  
高山 肇会員 永井会長の快復を祝して 計 8,000 円 累計 280,600 円

#### 誕生日祝い

11 月 19 日 俣野幸昭 会員



#### 永井 一史 会長

- 先週の合同例会へのご出席、ありがとうございました。
- 西村幹事に第 1 回米山功労者の表彰、山下会員に第 1 回ポールハリスフェローの表彰です。
- 11/6 中央分区会長・幹事会に私と西村幹事が出席いたしました。ガバナー公式訪問は、中央分区はほぼ終了し、27 日のお茶の水が最終となります。他クラブの感触を聞くところによりますと、大変厳しいコメントのようです。27 日にクラブ協議会に出席の委員長の皆様どうぞ宜しくお願いいたします。また、2 月 13 日、沖縄開催の地区大会、6 月ハワイで開催される国際大会へのご出席も宜しくお願いいたします。
- 次週 25 日 (月) 15 時より、ホテルニューオータニに於いて、IM が開催されます。欠席でご連絡頂いた方でも当日出席できるようにしたら直接会場にお越し下さい。1 名でも多い出席をお待ちしております。
- 先週の水曜日の合同例会の日に、土居会員が本宮 RC 例会に出席し、災害見舞金をお渡ししました。報告用の資料を回覧いたしました。
- 米山奨学生 付 達文さんに 11 月分の奨学金をお渡しいたします。



#### 西村美智子 幹事

- 11 月度定例理事役員会、議事録を配布致しました。ご確認下さい。
- 6 日に公示いたしました、入会候補者の井上 靖氏につきましては、その後異議なく入会と決定致しました。
- お茶の水が毎年支援をしています、東京 RC の「東北すくすくプロジェクト」の活動報告を回覧致しました。
- 2020 年 3 月 26 日・27 日に東日本大震災被災地復興支援「気仙沼視察」のご案内予告を回覧致しました。正式なご案内は 1 月上旬の予定です。
- 親子はねやすめへのご協力、ありがとうございました。
- ガバナー公式訪問クラブ協議会に関するメールをお送りしますので、ご確認下さい。

#### ロータリーの友 11 月号のご紹介 松島 健ロータリー情報委員長

まず、私が入会した時、地区大会で松島ガバナーが仰った、「ロータリアンが頑張っても世界中の人を救うことはできない、自分に余裕ができた分で奉仕すればいい」という言葉が記憶に残っています。11 月号には、ポリオ撲滅に向けて東京麹町 RC が活動を始め、RI が認め、今では絶滅まで 3 か国となりましたと、「ポリオ絶滅に向けてわがクラブの先輩」というタイトルで麹町 RC 久保田会員の記事があります。11 月はロータリー財団月間で、財団に関することが詳細に書いてあります。また、インターアクト、米山梅吉記念館創立 50 周年記念式典の記事もお目通し下さい。

#### 11/14 地区青少年奉仕研修会の報告 俣野幸昭青少年奉仕委員長

①ローターアクトクラブの実際 ②RYLA の紹介 ③青少年奉仕のクラブでの事例 ④青少年交換留学 運営の改善についてお話がありました。ファシリテーターが決まっていたので、グループディスカッションが大変有意義に行われました。

# 帯状疱疹の怖さと そこから学んだ教訓

## 永井 一史会長

### 1) 病状の経緯

①7月31日(水)8時に目覚まし時計のベルが鳴り止まないのを妻が不審に思っ て見に来たところ、ベッドの上で意識不明になっている私を発見し、救急車を呼んで杏林大学病院に搬送されました。

②8月1日(木)15時頃に意識が回復したようだが、18時頃までの記憶がありませんでした。また、意識が回復する前に、家族が医者からこのまま意識が戻らず死亡するか、仮に意識が戻っても、身体に障害が出るので、預ける施設を考えておいてくださいと言われました。

③8月20日(火)退院。約3週間にわたり点滴を続け、帯状疱疹の菌が検出されないところまで来たので退院することになりました。

④帯状疱疹の菌は検出されなくなりましたが、完治ではなく、後遺症の強い痛みがあり、私の場合は頭部左にある三叉神経に沿った強い痛み(顔面の左上4分の1のみ)との戦いとなり、その治療をペインクリニックを専門にする病院ですることになりましたが、治療に時間がかかる病気です。

⑤特に私の場合は三叉神経に沿って帯状疱疹の菌が増加し、脳の膜まで侵入し髄膜炎となって意識不明になったようで、脳にまで帯状疱疹の菌が達するのは何万人に一人のようです。帯状疱疹は70歳代では60%の人が罹り、髄膜炎になる人は少ないとのこと。それだけに、後遺症もより厳しい痛みと、その治療には時間がかかると言われました。

⑥ペインクリニックは東京逋信病院の麻酔科に決まって、治療は8月22日(木)に始まり、治療方法は痛む場所にブロック注射(麻酔剤とステロイド)をしますが、このブロック注射も痛いのですが、それ以上に帯状疱疹による痛みの方が強いので何とか我慢ができました。とにかく、後遺症の頭部の痛さは枕に頭部を当てることができないほどで、痛くて眠れません。治療方法は週2回のブロック注射と強い鎮静剤の飲み薬の両方からの攻撃です。ブロック注射は1回の治療で5~7本注射をした。ブロック注射は患部が頭部や額のため、相当高い技術を必要とします。私の先生は24年のベテランの先生です。帯状疱疹の後遺症の痛みは普通最大10サイクル(10回)のブロック注射をすれば良くなるとのことですが、私の場合はかなり重症であり、10サイクル以上かかるので、3ヶ月は覚悟してくださいと言われました。4回目ぐらいで急激に痛みが改善され、枕に頭部を付けられるようになり、7回目ぐらいで睡眠ができるようになりました。睡眠ができてはいても細切れで、目を覚ますと、こめかみの強い痛みが続いており、その痛みがなかなか改善せず、少しずつの改善です。その後、頭部は触らなければ痛くありませんが、シャワーの水力では、かなりの痛みを感じました。これも少しずつ和らいでいきました。

⑦その他の後遺症は、左目の視神経がやられたので(目そのものには問題がない)テレビ、パソコン、

新聞といったものを見ると、左目の視神経が痛くなり、その痛みがこめかみの強い痛みになるので、これらが見られないのは大変困りました。医者からはサングラスを使ってみたらと言われ、度付きサングラスをかけてみましたが、左目の視神経への刺激は少しは良くなりましたが、それでもかなりの刺激が残っていました。

### 2) 病気の前兆

今から考えれば、7月20日頃に眠れないほどの強いこめかみの片頭痛があり、その頃、パソコンを使用する機会が多かったので、それが理由の眼精疲労かと自己判断して、市販の鎮痛薬を飲んでごまかしていましたが、何か左目がおかしいので、7月24日に眼科に行ったところ、帯状疱疹ヘルペスと診断され、目薬と飲み薬を処方され、1週間後の31日に来てくださいと言われました。また、翌日に皮膚科にも行くように言われた(その時に額に湿疹ができて始めていた)ので、行って診断を受け、塗り薬を処方され、眼科の結果を見たいので31日に来てくださいと言われました。まさにその1週間後の31日に意識不明で救急搬送されたのです。あの時、眼科なり皮膚科が大学病院でも紹介してくれれば、ここまでならなかったという思いが強いです。私は体だけは強く、自分の体を過信していたことが、このような皆様にご迷惑をかける結果になってしまった事を深く反省しています。

### 3) 教訓

①自分の体を過信しないこと。特に70歳を過ぎたら。  
②良い医者にかかること。最初の医者の判断が人の命を左右する。

③日ごろから家族を大切にすること。今回妻が発見し、救急車を呼んだことが命を救った。杏林病院の先生から、「私の命を救ったのは昨年上市した良い薬の効果もありますが、一番は奥さんがいち早く発見して救急車を呼んだことです。奥さんに感謝することですよ。」と言われました。

④よく人は自分が経験しないと人の痛みは分からないと言います。今回救急車で搬送され、意識不明の私を懸命な治療をしてくれた医者を含む病院の方々、見舞いやメール等で私を気遣ってくれた方々、家族の支援等、私にとって大変貴重な経験をしたことが、今後、困っている人たちを支援することに対して、何かプラスになった気がしています。

⑤前日まで元気だった私が、翌朝には意識不明で救急車で搬送され危篤状態になるということで、人の死とはいつやってくるか分からないということが良くわかり、そのためにも日頃からいつ死んでも良い心構えと、死ぬまでにしなければいけないことをよく考えて実行しておかなければいけないということが分かりました。

⑥約1日半にわたる危篤状態の時間に、よく言われるような夢などは一切見ませんでした。しかし、危篤状態の私をこの世に送り返した誰かがおられるのでしょうか。また体にも障害が残らず、心から感謝したいと思います。

